



4月22日の臨時会終了後、「米軍ヘリAH-1からの燃料キャップ落下事故に対する抗議決議」、「米軍CH-53E型ヘリコプターの着陸失敗炎上事故に対する抗議決議」について、米海兵隊太平洋基地司令部及び沖縄防衛局へ抗議・要請を行いました。

ぎのわん 第87号

市議会だより

宜野湾市議会 宜野湾市野嵩一丁目1番1号
 電話 (098)893-4411(内337)
 印刷 有限会社ダイヤプリント



燃料キャップ落下及びヘリ着陸失敗炎上事故について、沖縄防衛局の武田局長より説明を受ける呉屋勉議長と宜野湾市議団

【定例会の経過】

2月	22日	議会運営委員会
	26日	会期の決定、施政方針、案件上程、説明
3月	1日	上程案件に対する質疑 議会運営委員会
	4日	質疑、委員会付託 各派代表者会議、議会運営委員会
	5～7日	常任委員会議案審査
	8日	議会運営委員会
	11日	中間表決(委員長報告) 議会改革に関する調査特別委員会
	13日	福祉教育常任委員会
	14日	各派代表者会議
	12～15日	一般会計予算審議
	18、19、21、 22、25、26日	一般質問(質問者26名)
	22日	経済建設常任委員会
23日	議会改革に関する調査特別委員会	
27日	各常任委員会の審査報告及び表決	

**平成25年度一般会計予算370億円
賛成多数により可決！(反対7名)**

3月 定例会 会期 2月26日～3月27日

第374回宜野湾市議会定例会は、2月26日から3月27日までの30日間の会期で開かれました。

今定例会は、平成25年度一般会計予算や各会計予算のほか、水と緑のまちづくり基金条例を廃止する条例について、特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例についてを含む53件にわたる議案等が審議され、26名の議員による一般質問も行われました。

三月定例会
主な議案の審議経過

平成二十五年度
一般会計予算
可決

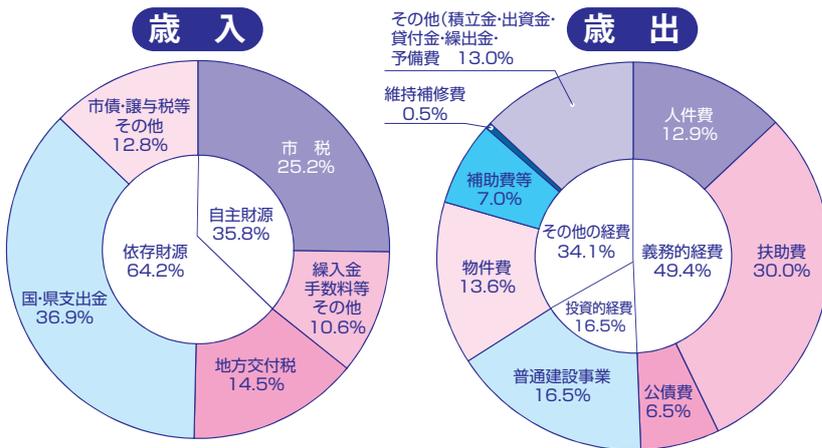
新年度一般会計予算は予算総額三百七十億円で対前年比三十四億六千万円(一〇・三%)の増となっており、新規事業としては、小学校給食費助成事業、西海岸地域開発検討調査事業、特定健康診査受診率向上事業、公会計基準モデル事業など新たに二十八事業が盛り込まれ、継続事業として百七事業を含めた合計百三十五事業が実施されます。四日間の審査では、大幅な基金の取り崩し及び廃止を初め、市税や特定駐留軍用地内土地取得事業基金並積立事業はごろも小学校及び幼稚園に關連する事業、小学校給食費助成事業等に関して、多くの議論がなされました。定例会最終日には、新年度予算の表決に際し、多額の基金の取り崩しや廃止による予算編成のあり方、一括交付金事業の活用方法、市民広場の警備委託料への支出などを理由に反対討論が行われましたが、十九対七の賛成多数で原案のとおり可決されました。

平成25年度各種会計別予算

(単位:千円)

会計名	予算額	
一般会計	37,000,000	
特別会計	国民健康保険	12,266,029
	介護保険	4,864,358
	介護老人福祉施設等	320,501
	後期高齢者医療	734,936
	下水道事業	1,667,502
	宇地泊第二土地区画整理事業	722,751
	佐真下第二土地区画整理事業	542,365
	小計	21,118,442
合計	58,118,442	
水道事業	収益的収入	2,044,297
会計	収益的支出	1,950,538

平成25年度
一般会計歳入歳出予算性質別の状況



市長の給与条例の一部改正
可決

議案の内容は、市長の公約の一つで、市長自ら行財政改革に取り組み姿勢を示すため、市長の給料を平成二十五年四月一日から平成二十八年二月十一日までの任期中、月額五%減額する内容である。委員会審査では、五%を減額する割合について質疑がなされ、給与を減額するということが公約であり、減額割合については市長と総務部で協議の上、決定したとの答弁がなされた。

また、特別職給与に関しては市長の諮問により特別職報酬等審議会で審議するが、今回は市長の公約に基づく特別的なケースであり、額の妥当性についても審議会で判断できるものではないとの説明もなされ、全会一致をもって原案のとおり可決された。

市税条例の一部改正
可決

議案内容は、東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律の公布に伴い、平成二十六年より市・県民税の均等割額を千円増額

するものである。委員会審査では、改正に伴う増収額について質疑がなされ、年間千八百五十万円程度の増収を見込んでいるとの答弁がなされた。

また、増収となる財源の使途については、平成二十七年までの本市の防災対策事業の財源に充てるものであるとの説明がなされた。表決に当たっては、課税対象者の所得の高低にかかわらず、一律に同額を負担させる課税のあり方に問題があり、東日本大震災に關連する対策は国が責任を持って取り組むべき課題であるとの反対討論がなされ、賛成多数(反対十名)により原案のとおり可決された。

教育委員の任命
同意

宮城茂雄氏の任期満了(平成二十五年三月三十一日)に伴い、玉城勝秀氏を、その後任とする人事案件が定例会最終日に提案され、八名退場のもと、全会一致で選任同意されました。



玉城勝秀氏

第三七五回臨時会

四月二十二日に招集された臨時会は、市税条例及び国保税条例に関する専決処分承認について外五件の抗議決議及び意見書が審議され、それぞれ全会一致で承認可決された。

- 米車ヘリA H-1からの燃料キャップ落下事故に対する抗議決議及び意見書
- 米車C H-53 E型ヘリコプターの着陸失敗炎上事故に対する抗議決議及び意見書
- 4・28「主権回復・国際社会復帰を記念する式典」に対する抗議決議

議事事務局の人事異動

平成二十五年四月一日に議事事務局の人事異動が行われました。

次 長 瀬名波 稔(昇任)
庶務係長 崎間 道代
(教育委員会 学務課)

なお、仲村厚子さんが環境対策課へ異動となりました。大変お疲れさまでした。

一般質問

今定例会は、26名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、ホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

【答弁者】

- 市長 佐賀真 淳
- 副市長 松川 正 則
- 教育長 宮城 茂 雄
- 水事管理 外間 伸 儀
- 総務部長 宮城 聡
- 企画部長 和田 敬 悟
- 基地政策部長 比嘉 秀 夫
- 福祉保健部長 玉那覇 豊 子
- 市民経済部長 宮城 豊 信
- 建設部長 石原 昌 次
- 教育部長 宮里 幸 子
- 指導部長 古堅 宗 篤
- 消防長 大嶺 清 光
- 会計管理者 國吉 秀 子

防犯灯設置のあり方について



伊波一男議員

○議員 自治会加入率が低迷する中、今後は市が全ての防犯灯を設置及び管理していく必要があると思つが、どのようにお考えか。

○市民経済部長 自治会の負担感が増していることは、市としても認識しており、現在できるだけ自治会の負担を軽減するための方策について検討しているところである。

○議員 市内には防犯灯が三千二百五十八灯設置されているが、台風等で倒れて近隣の住宅等に被害があった場合、誰が責任を負つのか。

○市民経済部長 基本的に防犯灯の設置及び管理は自治会が担っている。現段階で補償等については自治会に負担していただくしかないと考えている。

○議員 防犯灯に係る損害賠償保険も市が負担すべきだと考えるが、御見解を伺いたい。

○市民経済部長 どういった形で自治会の負担軽減を図ることができているのか、調査、研究させてもらいたい。

国道58号宜野湾バイパス周辺整備計画について



濱元朝晴議員

○議員 国道五八号宜野湾バイパスのラウンドダウン前交差点は、中央分離帯にトンブロックが置かれていて、信号機の供用開始はいつごろになるのか。

○市民経済部長 当該交差点の供用開始は、三月二十二日午前に渡り初め式を行い、その後、直ちに供用開始をする予定である。

○議員 この信号機の供用開始について、いかがか。

始に伴い、第三街区に誘致が決定している(株)ゼビオ前の側道は現在閉鎖されているが、どの程度開通する予定なのか。

○市民経済部長 当該箇所については、大型商業施設や住宅の立地に伴い、人口や交通量が相当ふえてきている状況がある中で、側道を開通させる場合、信号機の設定等も必要になるため、現段階で開通する計画の予定はないと聞いています。

○議員 こちらも重要な箇所ですので、この側道が一日も早く開通できるように取り組んでほしい。

リース方式によるLED照明の導入について



岸本一徳議員

○議員 公共施設へのLED照明の導入は、電気料金値上げによる財政負担の軽減を図ることにつながるが、照明器具が高価なため初期費用が重い負担となり、予算確保が困難である。県外においては、こうした事態を打開する一つの手法として、民間資金を活用したリース方式による導入を進める動きがある。本市においても検討しては、いかがか。

○総務部長 初期投資に費用がかかることから、LED照明の導入に関して具体的な計画はまだない状況である。なお、今後建設する公共施設へは、極力LED照明器具を採用し、地球温暖化対策並びに電気料金の節減等を図っていく方向での考えを持っており、リース方式については、今後調査、研究してまいりたい。

行財政改革について



森田進議員

○議員 新年度予算の編成に当たり、基金の廃止や取り崩し等、今後本当に厳しい財政状況が見えてきている。施政方針では、行政診断の結果を踏まえ、真に行政がやるべき事業を見きわめつつ、市民と行政の役割分担を明確にするとのことであるが、どういった事業を想定しているのか。

○総務部長 平成二十五年度は、どの部分が民間委託や指定管理者の導入にふさわしいか等の審議を踏まえて事業を決定することになる。これからの検討になるため、現在の段階では具体的な事業名はまだ上がっておりません。

宜野湾11号道路整備及び宜野湾6、7号のカラー舗装について



宮城克議員

○議員 市道宜野湾十一号に関する地権者及び中原進入路における雨水排水の問題解決について、埋蔵文化財発掘調査と同時に進めていくのか、お伺いしたい。

○建設部長 地権者については、八九%の返還同意を得ており、事業を進めながらさらに同意を得ていく所存で、また中原進入路の雨水排水については、沖縄防衛局に対しては、

○議員 市民参画を含めた、新たな事業仕分け的な組織を検討したことがあるのか。

○総務部長 現在、附属機関で税理士等の専門家で構成される行財政改革委員会の設置があり、そういった専門家を活用する方法も検討している。

○議員 市民サービスを低下させないよう、財政計画を立てて、取り組んでほしい。

○議員 市道宜野湾六号及び七号におけるカラー舗装の早急な整備、あわせて側溝ふたの音鳴りの改善をお願いしたいが、いかがか。

○建設部長 市道宜野湾六号及び七号は通常路になっており、加えて交通量が多い箇所でもあるので、カラー舗装の整備を行い、また側溝ふたの音鳴りに関しては、要望箇所から改善してまいりたい。

○議員 改善方について引き続き取り組んでほしい。

普天間飛行場の 危険除去と防音工事 の拡充について



議員 吳屋 等

告示後の建築住宅に対する防音工事適用を政府に要望していただきたいが、いかがか。

◎基地政策部長 軍転協において毎年要望しており、さらなる拡大については、全国の実施状況等を踏まえて検討していくとの回答を国から得ているが、具体的な解決には至っていないため、今後も引き続き要望してまいります。

◎議員 国へ要請する際、具体的なデータをもとに交渉すべきであると考えるが、いかがか。

◎基地政策部長 騒音の大きさは測定しているが、常時飛行状況や機種についての確認体制が確立されておらず、市で実態調査を正確に把握したデータをもとに要望を行うことは、まだ困難な部分があると感じている。

◎議員 目視でも確認できる部分はあり、できることから始めて、一つずつでも前進できるよう国に対し要求していただきたい。

自治会公民館の バリアフリー化 について



議員 知名 康司

◎議員 昨年の九月議会において、公民館へのエレベーター設置についてお伺いした際、平成二十四年四月に学習等供用施設の改修工事における経費負担の要綱が制定され、また築十年以上経過した施設の改修工事は防衛補助を活用できると以前答弁されていた。そのことを踏まえ真栄原区、愛知区公民館においてエレベーター設置の検討を

れているか、伺いたい。

◎市民経済部長 防衛補助を活用することで、エレベーター設置の改修工事を行うことは可能であるが、建物の耐震改修、築年数等を考慮した際、建てかえの方が効率的な場合もあり、総合的に勘案し、自治会と協議を踏まえた上で検討してまいります。

◎議員 公民館の築年数は三十年近く経過し、耐震化という面では厳しいものが感じられる。また利用者は子供からお年寄り、足の不自由な方と多岐にわたるので、ぜひ検討をお願いしたい。

特定健診 事業について



議員 宮城 司

◎議員 本市は県内でも受診率が最下位であるが、次年度から新たに事業化される特定健診受診率の向上対策事業について伺いたい。

◎福祉保健部長 行政だけでは受診率向上に向けて限界があるというふうに感じている。今後は自治会との連携を図ることにより地域ぐるみの取り組みが大変重要であると考えており、南城市等が実施し

ている自治会に対して報奨金を授与する制度を本市も平成二十五年度から実施する。

◎議員 那覇市では保険証と受診券を一体型にし、市民の利便性を図っている。本市でもぜひ取り入れるべきだが、どのように考えているか。

◎福祉保健部長 一体型に向けては、システムの調整などがまだ進められておらず、平成二十六年実施をめどに進めてまいります。

◎議員 本市は昭和三十九年に健康都市宣言をした先進的な市であるので、今後も市長を先頭に頑張ってもらいたい。



愛知区公民館で行われた集団健診(5月29日)

市民の平均寿命と 死亡原因について



議員 比嘉 憲康

◎議員 市民の食生活と四十年代から六十代における死亡率についてお伺いしたい。

◎福祉保健部長 特定健診の結果より、悪玉コレステロールの有所見率が高く、食生活の影響が大きいと推察でき、また全死亡者数における六十五歳未満の割合は二五・三％と県の二〇・九％に比べ高くなっている。

◎議員 成人後に食生活を変

えるのは難しく、子供のうちに食生活習慣を正す必要があると思うが、食育に関してどのような取り組みを行っているのか、お伺いしたい。

◎指導部長 栄養士と連携して食育に関する授業を実施し、また地産地消の視点で、地域で育てるところから食について考えるという取り組みを行っている。

◎議員 生活習慣を変えることで健康に、ひいては長寿につながる上で、ピンピンコロリのように、病気にもならず、年老いていくという理想的な市を目指していただきたい。

福寿園の 民営化 について



議員 島 勝政

◎議員 福寿園開園当時の措置制度から、平成十二年の介護保険法施行までの運営状況の経緯についてお聞きしたい。

◎福祉保健部長 福寿園は平成十二年度に一般会計から特別会計へ移行しており、移行前の平成十一年度の運営状況として、一般財源から二億千四百円余の繰り入れを行っている。

◎議員 繰入金金の地方債元金

及び利子については、市立の施設であるためやむを得ないが、職員の給与と分は特別会計である以上、介護報酬の範囲内で捻出すべきではないのか。

◎福祉保健部長 現在、施設整備や給与等を含め、一般会計から繰り出しを行っており、決して望ましい状況ではないと考えている。

◎議員 当園の民営化の時期について伺いたい。

◎市長 行政診断の結果を踏まえ、民営化を視野に入れながら、総合的に判断したい。

◎議員 民営化に向けて、早目に取り組んでいただきたい。

城山団地に係る諸問題の解決方について

我如古 盛 英議員



◎議員 城山団地における借地料等の諸問題の解決方について、城山団地内借地人会より要請書が提出されていると思うが、行政として対応可能かどうか確認したい。

◎建設部長 本要請については、ことしの一月末に建設部において受理しており、関係部署とも連携をとりながら行政として関与できることがあれば、対応していきたい。

◎議員 団地内道路の市道認定は可能なのか。

◎建設部長 当該道路は、開発道路であり、管理者の存在する位置指定道路となつているため、開発業者及び借地人との譲渡の協議が成立しなければ、市道認定は難しいと考えている。

◎議員 同団地は、琉球政府時代に開発され、測量誤差等の独特な問題が生じており、その問題解決のため、一括交付金の活用等はできないのか。
◎企画部長 交付金活用には多くの制約があり、具体的な事案の際に個別に検討したい。

学習等供用施設整備について

上地 安之 議員



◎議員 上大謝名の公民館整備計画について、定額補助のかさ上げ要請をすべきとの提言等をこれまでしてきたが、それは実現可能なのか。

◎企画部長 防衛省に対し、補助額の増額要請の結果、定額補助ではなく、事業費の七五%を負担する定率補助の内諾を得ている。
◎議員 公園と公民館の整備を同時に行つ整備統合事業に

て、七五%の補助率をもつての整備が可能と理解してよいのか。

◎企画部長 上大謝名地区に関して、騒音被害地域であるため、公園及び公民館を一括して高率補助で行つ当該事業にて整備をしていきたい。
◎議員 補助額を変更すれば地域負担額も変更するののか。
◎市民経済部長 負担の割合に関しては、今後、自治会とも協議をしていきたい。

◎市長 議員の皆様方の御協力のもと、今後とも高率補助といわれる防衛予算の獲得に向け、頑張つてまいります。

公共施設における防犯カメラの設置について

豊富場 保議員



◎議員 本市における一括交付金を活用した防犯カメラの設置に関して、趣旨的及び効果予測について説明していただきたい。

◎市民経済部長 防犯カメラ設置による犯罪検挙効果及び犯罪抑止効果大きいことから、次年度より宜野湾トロピカルビーチにおいて十台の設置を予定しており、工事費が六百九十四万円、保守点検委

託料として百二十一万円、電気使用料として二万二千円の予算計上を行っている。

◎議員 昨年十二月那覇市松山において、商店街と連携し、カメラ設置を行っているが、本市においても、同様の取り組みはなされているのか。
◎市民経済部長 警察署、教育委員会及び地域の商店街と連携し、様々な要望、要請について協議しており、今後一括交付金の活用を視野に入れたカメラ設置を検討したい。

◎議員 市長を先頭に、市民総ぐるみで住みやすいまちをつくつていただきたい。

25年度に平成予算について

桃原 功議員



◎議員 平成二十五年度予算の編成は、財政調整基金を初めとする多くの基金から二十八億円近くが取り崩されているが、今後、財政調整基金の積み立てについては、どのように取り組んでいくののか。

◎企画部長 地方財政法に基づく剰余金の積み立てに加え、行政診断の結果を踏まえた行政改革に積極的に取り組む、基金へ積み立ててまいります。

姉妹都市等の提携について

玉元 一恵議員



◎議員 本市の姉妹都市の数と、それに関連した提携事業などがあれば、伺いたい。

◎企画部長 現在、姉妹都市はありませんが、中国の廈門市と交流の推進や国際的視野を持った人材の育成を目的に友好都市を提携している。
◎議員 本市は英語に関して先駆的と認識しているが、今後、英語圏での姉妹都市提携は考えているか。

◎企画部長 現在のところ、具体的な検討はしていないが、そのような交流の機運が盛り上げれば検討してまいります。

◎議員 本市には沖縄国際大学等があり、海外の大学機関との連携もあることから、ぜひ連携可能なかわりを持って姉妹都市を結んでいただきたいと考えるが、いかがか。
◎企画部長 学術連携から発展して交流の機運が盛り上がるれば、検討してまいります。
◎議員 沖縄には素晴らしい文化もあり、その面も含めてぜひ姉妹都市、連携都市、友好都市を結んでいただきたい。

文化財説明板・標識設置事業について

伊波 秀男議員



◎議員 当該事業の概要について伺いたい。
◎教育部長 市内外の方々に文化財の場所や内容を知ってもらうとともに、地域の方々が文化財の保護と活用を図るために、わかりやすい説明板と標識を文化財の場所に設置し、合わせて自治会事務所に

区内の文化財の場所や戦前の様子がわかる地域文化財案内板を設置する事業である。

◎議員 比屋良川沿いには県指定文化財の小祿墓があるが、当該事業の対象になるか。
◎教育部長 対象になります。
◎議員 現在、比屋良川公園も整備していることから、それに合わせて小祿墓への説明板、標識の設置もお願いしたいが、いかがか。
◎教育部長 平成二十五年度は大謝名区と我如古区の整備を予定しており、嘉数区内の小祿墓は、平成二十六年事業として計画してまいります。

◎議員 比屋良川公園の整備に合わせて、小祿墓の整備もぜひお願いしたい。

山田地区に係る諸問題の解決方について



◎議員 団地内下水道への未接続世帯に対して、普及指導はどのように行っているか。

◎建設部長 普及促進のチラシの投函等を実施している。

◎議員 国道三三〇号から市道長田二号、志真六公園までの団地内道路は、市で用地を譲り受け、市道として整備すべきと考えるが、いかがか。

◎建設部長 開発道路の移管については、開発側が整備をして無償譲渡する形をとっており、現在、開発業者と借地人との譲渡の協議がまだ成立していないため、市道認定は厳しいと考えている。

大山田いも栽培地区振興基本計画について



◎議員 大山田いも地域を保全する上で、農業者に対する支援や、また当該地域は湧き水が豊富なので水車を回すなどして観光に結びつける計画が必要かと思いが、いかがか。

◎市長 地権者の意向調査もした上で、個性のある都市型農業として当該地域を保全するためどのような手法があるのか研究していきたい。

◎議員 湧き水を生かした大山田いも地域の保全に対して市長には予算を獲得していただきたいが、そこで一括交付金の活用などは、いかがか。

◎市長 平成二十五年度の予算において、西海岸地域の構想を描いた計画を立てており、その中で何ができるのかという議論をしていきたい。

◎企画部長 地域の特性を生かし、なおかつ沖繩の振興に資するという事業であれば、一括交付金を充当することができると考えている。

◎議員 一括交付金を生かす、ぜひ特性のあるすばらしい事業にしていただきたい。

海外研修派遣費について



◎議員 沖繩県女性海外セミナー派遣事業である「女性の翼」は来年度で三十周年を迎え、長年海外研修を重ねてきた経緯があるが、次年度から補助費が廃止される理由について伺いたい。

◎企画部長 事業内容については、大変有意義な事業であるが、全庁的に予算を見直す中での廃止決定となっている。

◎議員 当該派遣費の事業復活は可能なのか。

◎市長 他市町村においても当該事業は廃止されており、本市においても厳しい財政状況であるため、御理解をいただきたい。

◎市長 派遣費用の補助について、現在提案している分については認めていきたい。今後は女性の地位向上のため、要望等を聞き入れ、部内で研究をした上で、その都度判断をしていきたい。

◎議員 女性の前向きな姿勢や国際的な視野を広げることが本市の発展につながるため、派遣費の復活を強く要求する。



都市型農業としての保全が検討されている大山田いも栽培地区

帯世帯の生活保護児童について



◎議員 生活保護世帯の児童に対して、どのような就業支援を行っているか。

◎福祉保健部長 子供の健全育成事業として、教員免許を有する嘱託員二名を配置し、教育環境に問題を抱える子供や高校進学を希望する子供に対し、生活指導や就学支援を行っている。

◎議員 当該事業の効果について、お聞きしたい。

◎議員 生活保護世帯の児童に対して、どのような就業支援を行っているか。

◎福祉保健部長 子供の健全育成事業として、教員免許を有する嘱託員二名を配置し、教育環境に問題を抱える子供や高校進学を希望する子供に対し、生活指導や就学支援を行っている。

◎議員 当該事業の効果について、お聞きしたい。

自主財源の確保について



◎議員 市民税等の公金徴収一元化を図ることで収納率が上がるかと考えるが、いかがか。

◎総務部長 メリットやデメリット、行政診断の内容も踏まえて研究してまいりたい。

◎議員 市内小中学校で働く職員から駐車場料金を徴収することに、財源確保につながるかと考えるが、いかがか。

◎総務部長 学校現場の声も聞きながら今後の方向性について研究してまいりたい。

◎議員 市民税等の公金徴収一元化を図ることで収納率が上がるかと考えるが、いかがか。

◎総務部長 メリットやデメリット、行政診断の内容も踏まえて研究してまいりたい。

◎議員 市内小中学校で働く職員から駐車場料金を徴収することに、財源確保につながるかと考えるが、いかがか。

◎総務部長 学校現場の声も聞きながら今後の方向性について研究してまいりたい。

◎福祉保健部長 通塾支援を受けた子供たちの高校受験合格率は九五%と高く、また、生活態度の改善や社会性が身につくなどの効果もある。

◎議員 生活保護を受けていない低所得者の子供たちへも当該事業の支援を広げるとともに、その対象も現行の中学三年生から中学二年生まで拡大してほしいが、いかがか。

◎指導部長 学習支援ができるよう課題等の整理を行い、要保護世帯の支援状況も踏まえ、今後研究してまいりたい。

◎議員 子供たちのため、ぜひ支援の実施をお願いしたい。

◎議員 たばこ会社の誘致による、たばこ税の増収についてはどのように考えているか。

◎市民経済部長 希望に沿った用地の確保等、難しい点もあるが、今後も支援のあり方について検討してまいりたい。

◎議員 市としてセカンドカーに軽自動車を推奨することで、軽自動車税の増収に繋がると考えるが、いかがか。

◎市長 軽自動車の推奨に向けて、どのような取り組みができるか検討してまいりたい。

◎議員 市長を先頭に財源確保に向け頑張ってもらいたい。



国・県・市連携による開発が期待される西海岸地域(仮設避難港)

西海岸地域開発に 検討調査事業について



仲村 春 松議員

◎議員 事業概要について伺いたい。

◎企画部長 当該地域の現状分析や課題の整理を行い、開発の方向性や実現化方策の検討などを行う事業である。

◎議員 仮設避難港の陸域水域部分を埋め立てた場合、概算で八十七億円の財源が新たに生まれることになるが、埋め立てて開発することについての見解を伺いたい。

◎企画部長 国及び県と連携していく中で、きちんと計画を立てて検討してまいりたい。

◎議員 仮設避難港の埋め立て工事費は五十八億円であり、埋め立て後の土地の価値から考えても十分採算がとれる。

◎市長 国及び県と連携を密にし、仮設避難港を含む西海岸地域のスピーディーな開発に取り組んでまいりたい。

◎議員 県や市の発展に向けてぜひ頑張ってください。

放課後児童 対策について



平良 眞一 議員

◎議員 放課後児童対策として、全小学校区への児童センター整備計画についてお伺いしたい。

◎福祉保健部長 今後、普天間、嘉数、長田及びはごろも小学校への整備が課題だが、現時点では、用地及び予算の確保を要望しており、施設整備に係る利用可能な補助メニューを調査、研究している段階である。

公共火葬場の 建設について



佐賀 進 議員

◎議員 去る十二月定例会にて、年度内に建設計画地の選定を行うとの答弁があったが、その後の進捗について伺いたい。

◎企画部長 担当者会議を二回開催しており、候補地について比較表を作成し、検討を行っているが、比較評価等は慎重に行う必要があるため、時間を要している状況である。

◎議員 予定では、平成二十

◎議員 嘉数小学校区については、以前から保健相談センター移設後の敷地への児童センター建設の要望があるが、どのように考えているのか。

◎福祉保健部長 保健相談センターも老朽化しており、移転が決定となれば、跡地は好条件であるが、具体的な移転計画は、まだ決まっていない。

◎議員 真栄原新町跡地への建設は検討しているのか。

◎企画部長 保健相談センターを含む総合福祉センターについては、次年度に建設予定地検討委員会を立ち上げ、場所を特定していきたい。

八年度供用開始であるが、それに間に合うのか。

◎企画部長 現時点での回答は難しいが、当初予定どおり建設できるよう努力したい。

◎議員 葬儀に関する補助金について、北谷町では四万円を支給しているが、本市も同等の金額にできないのか。

◎企画部長 本市は、国保加入者へ二万円を支給しているが、増額については今後、研究したい。

◎議員 供用開始に間に合わなければ、その間の補助金増額を実施し、建設実現に向け頑張ってください。

職員の資質 向上について



大城 政利 議員

◎議員 さきの議会で、人事考課制度を早期に導入し、職員の勤務成績の評価を行い、市民へ報告すべきであるというところに対し、積極的に取り組んでまいりたいと答弁されていたが、その後の進捗をお伺いしたい。

◎総務部長 人事考課制度を導入することで得られる効果また新たに発生する問題等の研究をしているところである。

◎議員 やる気のある職員を評価することは大事であり、また平成二十三年度に人事考課制度を導入するという当初の計画からも導入を急ぐ必要があるかと思うが、いつごろ導入されるのか。

普天間飛行場周辺 まちづくり事業の 今後の取組について



桃原 朗 議員

◎議員 普天間飛行場周辺まちづくり事業の基本構想を平成十四年度に策定したが、その後、事業着手できなかった理由をお伺いしたい。

◎企画部長 基本計画の当初の範囲は、普天間神宮及び神宮寺を含む周辺一帯であったが、用地買収の困難な部分があり、計画範囲を縮小した際に、地域への波及効果、費用対効果などの課題が出てきた

ことや沖縄防衛局との調整も難航したことが原因である。

◎議員 当該事業の実施に対する決意をお聞かせ願いたい。

◎企画部長 普天間飛行場周辺まちづくり事業については、防衛費予算で実施することになっており、実施計画策定に関しては平成二十六年より事業開始ができるよう本年五月には概算要求をし、早期に開発を着手できる部分の時間を要する部分を整理して、早期に着手できる部分は早目に着手してまいりたい。

◎議員 ぜひ早期着手に向けて取り組んでいただきたい。

第374回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議案第1号	平成24年度宜野湾市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)	議案第41号	学校施設内における事故に関する和解等について	同意 (全会一致)
議案第2号	平成24年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)	議案第42号	宜野湾市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第3号	平成24年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)	議案第43号	宜野湾市議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (賛成多数)
議案第4号	平成24年度宜野湾都市計画宇地泊第二地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)	議案第44号	宜野湾市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第5号	平成24年度宜野湾都市計画佐真下第二地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)	議案第45号	教育委員会委員の任命について	同意 (全会一致・退場8名)
議案第6号	平成24年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)	決議案第16号	MV-22オスプレイからの飲料水ボトル落下事故に対する抗議決議	原案可決 (全会一致)
議案第7号	平成24年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)	意見書第18号	MV-22オスプレイからの飲料水ボトル落下事故に関する意見書	原案可決 (全会一致)
議案第8号	平成24年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)	決議案第17号	米海兵隊員による住居侵入事件に対する抗議決議	原案可決 (全会一致)
議案第9号	平成24年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)	意見書第19号	米海兵隊員による住居侵入事件に関する意見書	原案可決 (全会一致)
議案第10号	平成25年度宜野湾市一般会計予算	原案可決 (賛成多数)	陳情第48号	平成25年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情	採択 (全会一致)
議案第11号	平成25年度宜野湾市国民健康保険特別会計予算	原案可決 (全会一致)	陳情第53号	スクールソーシャルワーカー活用事業に関する要望	閉会中の継続審査
議案第12号	平成25年度宜野湾市下水道事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)	陳情第54号	高齢者施策を担うシルバー人材センターへの支援について	採択 (全会一致)
議案第13号	平成25年度宜野湾都市計画宇地泊第二地区画整理事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)	陳情第55号	米軍普天間基地に関する要請	閉会中の継続審査
議案第14号	平成25年度宜野湾都市計画佐真下第二地区画整理事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)		閉会中の継続審査申し出について 議案第19号 宜野湾市国民保護協議会条例の制定について 議案第20号 宜野湾市国民保護対策本部及び宜野湾市緊急対応事態対策本部条例の制定について 陳情第20号 宜野湾市入札制度に関する見直しについての要請 陳情第38号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情 陳情第45号 女性の人材育成と積極的登用について 陳情第55号 米軍普天間基地に関する要請	承認 (総務常任委員会)
議案第15号	平成25年度宜野湾市介護保険特別会計予算	原案可決 (全会一致)		閉会中の継続審査申し出について 議案第29号 宜野湾市水と緑のまちづくり基金条例を廃止する条例について 陳情第31号 宜野湾市発注に係る公共工事に使用される生コンクリートについての「官公需適格組合」並びに「品質管理監査合格工場」への優先使用に関する陳情 陳情第46号 地球温暖化対策に関する「地方財源の確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書採択について 陳情第52号 トロピカルビーチ東リーフの活用に関する請願	承認 (経済建設常任委員会)
議案第16号	平成25年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計予算	原案可決 (全会一致)		閉会中の継続審査申し出について 陳情第19号 離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書の提出について 陳情第21号 就学援助制度の周知・拡充を求める陳情 陳情第28号 「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化要請制度設計の意見書提出に関する陳情 陳情第29号 「30名以下学級」早期完全実現に関する陳情 陳情第30号 学校給食センター移設統合反対に関する緊急要請 陳情第39号 「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情 陳情第41号 「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を求める意見書採択のお願い 陳情第49号 民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書について 陳情第50号 平成25年度福祉施策及び予算の充実について 陳情第51号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情 陳情第53号 スクールソーシャルワーカー活用事業に関する要望	承認 (福祉教育常任委員会)
議案第17号	平成25年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 (全会一致)			
議案第18号	平成25年度宜野湾市水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)			
議案第19号	宜野湾市国民保護協議会条例の制定について	閉会中の継続審査			
議案第20号	宜野湾市国民保護対策本部及び宜野湾市緊急対応事態対策本部条例の制定について	閉会中の継続審査			
議案第21号	宜野湾市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決 (賛成多数)			
議案第22号	宜野湾市税条例の一部を改正する条例について	原案可決 (賛成多数)			
議案第23号	宜野湾市産業展示館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)			
議案第24号	宜野湾市重度心身障害者(児)医療費助成に関する条例及び宜野湾市障害者介護給付費等認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)			
議案第25号	宜野湾市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)			
議案第26号	宜野湾市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	原案可決 (全会一致)			
議案第27号	宜野湾市児童の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)			
議案第28号	宜野湾市都市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)			
議案第29号	宜野湾市水と緑のまちづくり基金条例を廃止する条例について	閉会中の継続審査			
議案第30号	宜野湾市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 (全会一致)			
議案第31号	宜野湾市営住宅等の整備に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 (全会一致)			
議案第32号	宜野湾市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)			
議案第33号	宜野湾市の市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について	原案可決 (全会一致)			
議案第34号	宜野湾市公共下水道の構造の技術上の基準等を定める条例の制定について	原案可決 (全会一致)			
議案第35号	宜野湾市基地返還に伴う跡地の転用推進基金条例の制定について	原案可決 (全会一致・退場7名)			
議案第36号	宜野湾市特定駐留軍用地内土地取得事業基金条例の制定について	原案可決 (全会一致・退場7名)			
議案第37号	中部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う規約の変更に関する協議について	原案可決 (全会一致)			
議案第38号	沖縄県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決 (全会一致)			
議案第39号	嘉数ハイツ地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	同意 (全会一致)			
議案第40号	学校施設倒壊事故に関する和解等について	同意 (全会一致)			

第375回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第46号	宜野湾市税条例に関する専決処分の承認について	承認 (全会一致)
議案第47号	宜野湾市国民健康保険税条例に関する専決処分の承認について	承認 (全会一致)
決議案第18号	米軍ヘリAH-1からの燃料キャップ落下事故に対する抗議決議	原案可決 (全会一致)
意見書第20号	米軍ヘリAH-1からの燃料キャップ落下事故に関する意見書	原案可決 (全会一致)
決議案第19号	米軍CH-53E型ヘリコプターの着陸失敗炎上事故に対する抗議決議	原案可決 (全会一致)
意見書第21号	米軍CH-53E型ヘリコプターの着陸失敗炎上事故に関する意見書	原案可決 (全会一致)
決議案第20号	4・28「主権回復・国際社会復帰を記念する式典」に対する抗議決議	原案可決 (全会一致)